

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名		有機質肥料促進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	谷口 大介
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 11	事業連番 10290	根拠法令	合志市有機質肥料促進事業補助金交付要項		成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市在住の農家及び営農集団で有機質肥料を使った人に補助。平成15年度から畜産農家の堆肥の流通及び町内(旧西合志町)の地力増進を目的に開始された。家畜排せつ物法の制定により、畜産農家で多くの堆肥が作られるようになった。また、近年、安心・安全な農産物への需要が増加し、堆肥を使用した有機農家が増えてきた。
【業務の流れ】	補助金交付申請受付 → ②交付決定通知 → ③補助金交付
【主な予算費目】	役員費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	平成20年度から、補助率が1/2から2/3へ引き上げられた。・補助申請基準、条例等の見直しが必要ではないか。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	交付申請受付から補助金交付までの一連の業務	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		申請者からの補助金交付申請受付から補助金決定までの一連事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 戸	予算の主な増減の理由
→ ア: 申請した農家戸数	戸	
→ イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市在住の農家	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 戸
		→ ア: 農家戸数
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	堆肥購入経費の負担を軽減できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 軽減できた農家の割合 (申請件数÷農家戸数) × 100%
		→ イ: 軽減率 (補助額÷堆肥購入額) × 100%
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
堆肥購入経費の負担を軽減することから成果指標を「軽減できた農家の割合 (申請件数÷農家戸数)」「軽減率 (補助額÷堆肥購入額)」とした。目標値については、過去3年間の実績を踏まえ軽減できた農家の割合を17%、軽減率を52%とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
① 活動指標	ア 戸		112	112	100	90	100	100	100	100	
	イ										
② 対象指標	ア 戸		596	596	596	505	505	505	505	505	
	イ										
③ 成果指標	ア %		18.8	18.8	17	17.8	17	17	17	17	
	イ %		46	55	52	63	52	52	52	52	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	4,058	5,009	5,009	4,849	5,009	5,008	5,008	5,008
		(A) 事業費計	千円	4,058	5,009	5,009	4,849	5,009	5,008	5,008	5,008
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	7	5	2	3	2	2	2	2
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	245	260	300	215	300	300	300	300	
	(B) 人件費計	千円	976	965	1,195	0	1,195	1,195	1,195	1,195	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,034	5,974	6,204	4,849	6,204	6,203	6,203	6,203	

事務事業名	有機質肥料促進事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 堆肥購入補助金の周知徹底や実績値を考慮し設定しており、目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 広報・HP・各種会議等の中で効果的な広報を図るなど、適正な事業推進を行うことで成果向上が望める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 有機堆肥を使用する農家が増え、申請農家が増えると逆に事業費が増えることもある
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 一括申請でおこなっており、これ以上の業務時間の削減は困難である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 有機質肥料を使用した全ての農家が対象。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付事務のため適正である

3 評価結果の総括 (CHECK)

広報・HP・各種会議等の中で広く広報していく中、軽減できた農家の割合も増加している傾向にある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

広報・HP・各種会議等の中で効果的な広報を図るなど、適正な事業推進を行うことで成果向上が望める。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策